

蓋付きロフト用木製梯子について

東京都目黒区の A 様より当社のホームページ掲載のロフト用木製梯子の製作を依頼されました。このロフト梯子は軽く、部材の長さや厚みに対応できるホワイトウッド材を使用したものです。

さらに、お客様の使い勝手の良いように梯子の角度と使用位置を設定します。したがって、角度は多少緩めに出来、梯子の幅、踏み板等の形状にもこだわることが出来ます。

では製作、セッティングまでの流れを追って行きます。

1. 取り付け位置の図面と採寸図、現況画像を A 様より送っていただきました。

そこで、不明な点を確認させていただきました。大体の形はつかめますが、正確な角度の設定には一度、現場に伺う必要がありました。踏み板の形状材質のサンプルを送り見積もりも提出し、金額面の了解をもらいました。

後日、東京方面出張時に現場採寸を約束しました。

2. 現場採寸、現況把握、取り付け希望位置の確認をしました。追加条件として反対側からも梯子の架け替えが容易出来ること。さらにロフト開口部に落下防止の蓋を付けることになりました。

ここで、製作図面を提出し、再度金額も確定し製作に入りました。

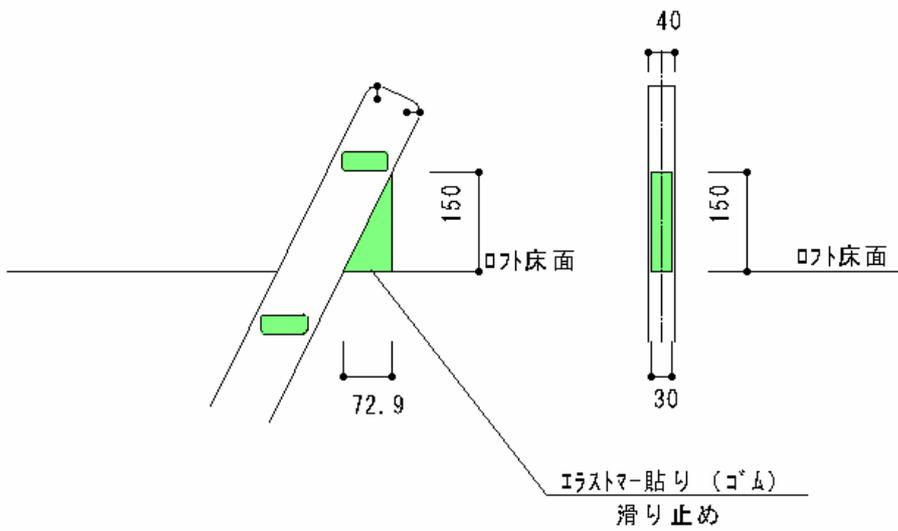


2F よりロフトへ仮梯子。



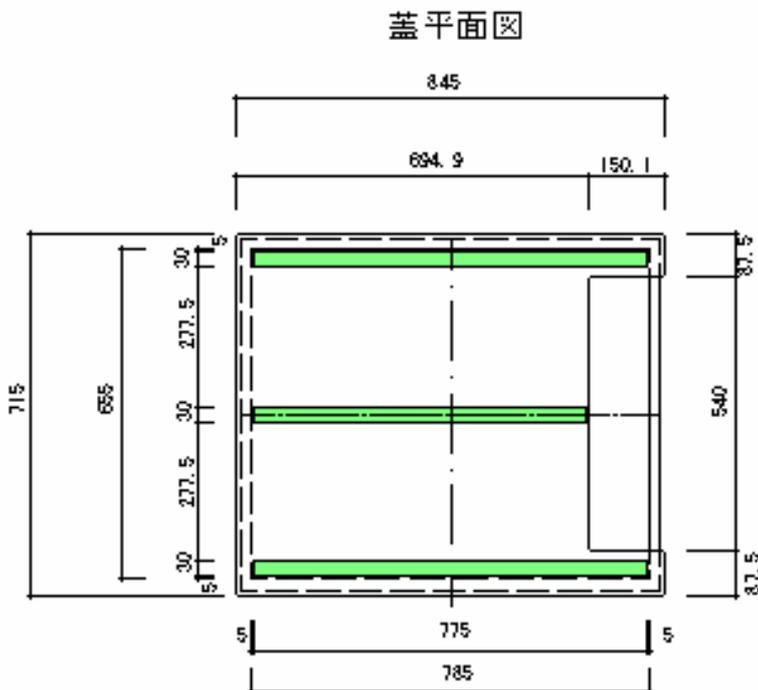
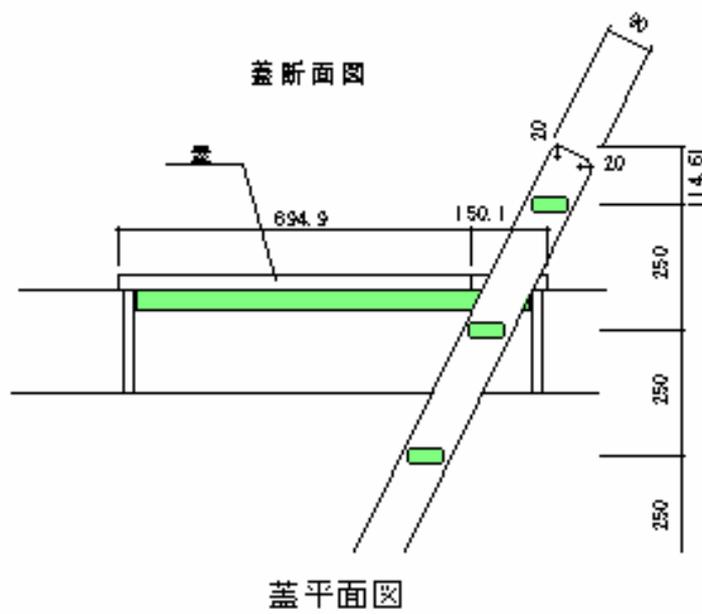
ロフト開口部状況。

梯子上部ストップ



上部ストッパーの2箇所と下部ストッパーの2箇所で滑り防止を図る。

単純な脱着式の蓋となる。



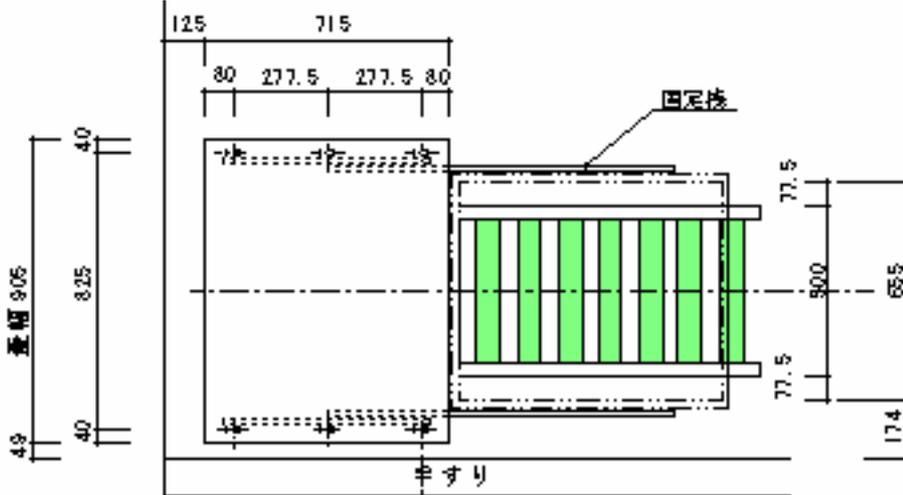
不採用になったキャスター付き移動蓋案です。(参考まで)

口開口部 移動蓋の検討

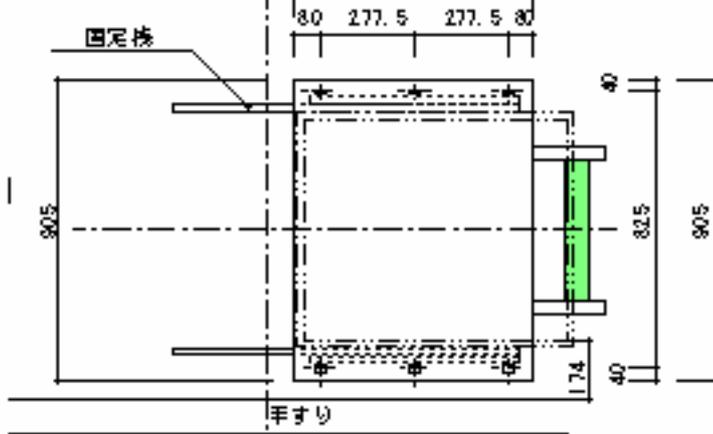
蓋材 ϕ : 905*715*t125

固定材 ϕ : 81

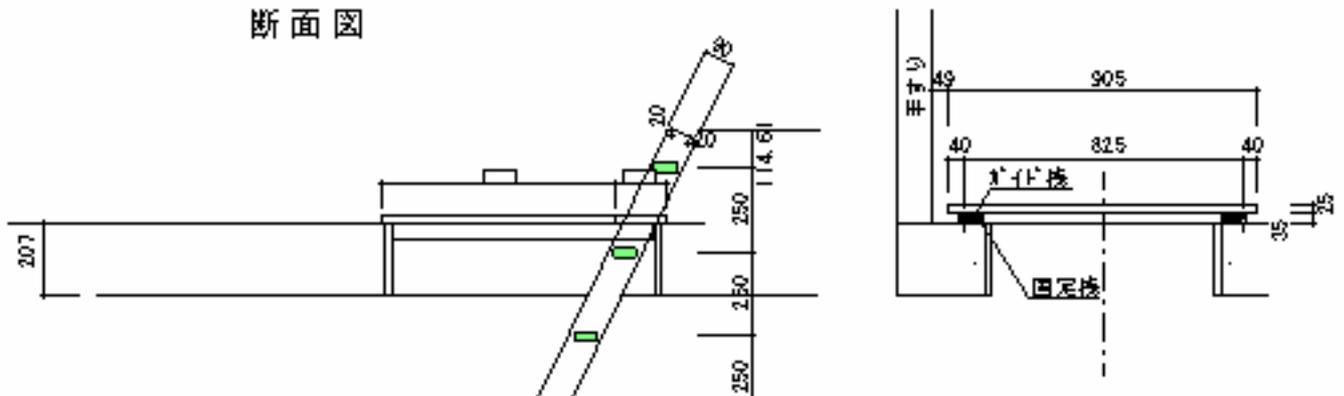
開放時時平面図



閉塞時平面図



断面図



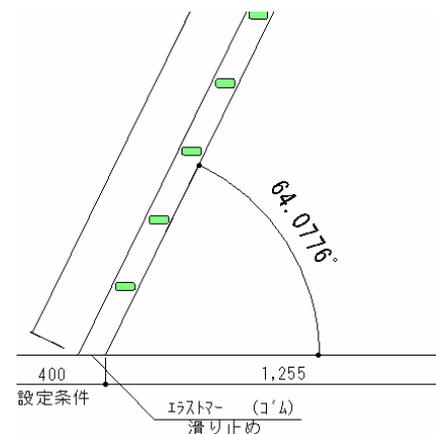
(株)マルタイ 家具部

3. 製作確定より 10 日ぐらいで仕上がりました。2F のベランダより梯子を引き上げてロフト開口部に入れ込みます。そこで、梯子の角度、位置の確認をします。問題が無ければ、梯子床接地面にスリップ止めのゴムを貼ります。さらにロフト床面に接地するストッパー材にもゴムを貼って固定します。そのあと、ロフト開口部の蓋の取り付け状況を確認して作業完了です。



64° の勾配です。

当初壁側から上る予定でしたが、反対向きにセットしました。
様子みた具合で向きを決めるとのことです。



梯子の側板：90 * 40

踏み板：70 * 30

梯子幅：500

幅広の梯子です。

必ず、滑り止めエラストマー(ゴム)を貼ります。(色移りしないゴムです。)



上部ストッパーとして3mmのエラストマー（ゴム）を貼っています。



ロフト開口部の収まり状況です。



t30 のズレ防止棧付きふたです。



梯子の取り付けに手伝っていただきました
ご主人でイギリス、リバプール出身の
デーモンさんです。

このご主人が梯子等を柿渋にて塗り上げる
とのことでした。

(株)マルダイ 家具部 Da・Monde 鈴木

平成22年3月14日